

発熱で受診後のケアアドバイス

★こんなことに注意してお子さんを見ていて下さい

- ・ 機嫌はいいですか？ 元気はありますか？
- ・ 食欲はありますか？ 水分とれていますか？ おしっこは出ていますか？
- ・ ポーとしていませんか？ 意識ははっきりしていますか？

こんな時は再診してください！

- ✓ けいれんしたとき
熱は何℃？何をしているときにけいれんしましたか？何分で止まりましたか？
どこがけいれんしてましたか？けいれんの様子は「びーん？」「かかかく？」
- ✓ 起こしてもウトウトして意識がはっきりしない
- ✓ 半日以上おしっこが出ないとき

ケアポイント

- 水分補給を十分に！
- 寒がるときは温かく、暑がるときは薄着にして下さい
- 坐薬の使い方
熱は悪者ではありません。38.5℃を越えても元気があったら坐薬を使用しなくても大丈夫です。坐薬を入れても4～5時間たつとまた熱が上がってきます。最低6時間は間隔を空けて使用しましょう。坐薬の先を少しめらすと入れやすいですよ。
- 氷枕や冷却シートは本人が希望すれば使用して下さい
冷却シートは、はがれて口鼻をふさいでしまう危険があるので、見ていれる範囲で使用して下さい
- お薬の飲ませかた
赤ちゃんは授乳前に飲ませて下さい。粉薬が上手く飲めない場合は、少量の水で練ったものを指先で赤ちゃんの頬の裏側につけたあと、白湯や母乳等をあげて飲ませてみて下さい。市販のゼリーの使用もOKです
- 入浴について
湯船での入浴は、37.5℃以上ではやめてください。元気であれば、シャワーや体を拭くのはOKです。赤ちゃんのおしりは洗ってあげてください

